

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 17 No 2

187号

平成21年 2月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

インフルエンザ09

院長

インフルエンザが全国的に流行してきました。今月はインフルエンザに関する新しい話題について考えてみましょう。

マスコミの話題でタミフル(オセルタミビル)耐性のインフルエンザウイルスが話題になっています。耐性とは、本来効果のある薬剤が効かない、効きにくくなったウイルスということです。タミフル耐性ウイルスは、昨シーズンから問題になり、とくにノルウエーでは70%が耐性ウイルスと報告されています。一方、昨シーズンの日本での耐性率は僅かに2.6%で、外国と比べてはるかに低い値になっていました。ところが今シーズンでは、A/H1N1亜型(ソ連型)の98%(1.16.09感染研)が耐性ウイルスであることが判明しました。全国のインフルエンザウイルスの検出では、Aソ連型459件、A香港型421件、B型151件が報告されています(1.21感染研)。一方仙台市では、これまでに検出されたのはAソ連型59件、A香港型1件であり、Aソ連型が全体の98%を占めています(1.28仙台市衛生研究所)。また、タミフル耐性の解析を行なったAソ連型15株すべてがタミフル耐性であることが判明しています。全国的な割合ではA型のうちソ連が約半数を占めているのでタミフルの効果は半分ぐらい、仙台ではほとんど効果が無いと考えるのが妥当かもしれません。幸いリレンザ(ザナミビル)に対する耐性は報告されていません。

Aソ連型とA香港型を区別出来るのでしょうか。病院で行っているインフルエンザ迅速診断キット(検査)では、インフルエンザAということはわかりますが、ソ連型か香港型の区別は出来ません。もちろんインフルエンザ診断の重要な要素である臨床症状でも区別することは不可能です。全国的な流行状況をみると、仙台でも香港型が流行する恐れもあります。区別が出来ない以上、とるべき方法はタミフルを使用しない、効果の確実性は無いかも知れないが可能性を考えて使うという選択になるでしょう。もちろんリレンザに対する耐性は見つかっていませんから、年長児であればリレンザの使用は、もうひとつの選択になります。ご承知のようにリレンザは吸入薬ですから、吸入が確

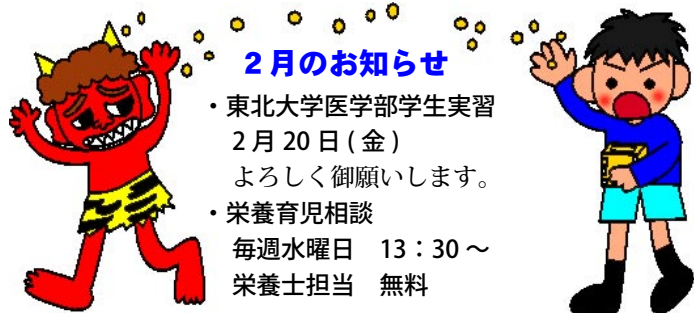
実にできることが条件となります。年齢は記載されていませんが、概ね5歳以上であれば可能と考えています。確実に吸入できなければ無駄になる訳ですから、親御さんもむやみに希望することは避けたいものです。

タミフル耐性の理由は十分に解明されていませんが、タミフルを使用していない地域で耐性化がみられたこと、世界のタミフルの70%を消費する日本で耐性化が遅れたことを考えると、タミフルの使用とは関係ないものと考えられています。抗生物質の耐性化に関しては抗生物質の乱用が原因であることは証明されていますが、タミフルに対する耐性は自然界の中で変異という形をとって耐性化を獲得したものと考えられています。幸いなことに、A香港型、B型のタミフル耐性株は現在のところ見つかってはいないようです。

タミフル耐性のウイルスに感染すると重症化するという心配があるかもしれません。また、このような言葉を聞くと、新型インフルエンザウイルスと混同してしまうかもしれません。ウイルスの強さのことは病原性と呼びます。タミフル耐性のウイルスだからといって、病原性が強くなるようなことはありません。つまり、症状が特別重症になるということは無く、従来のソ連型と同じ重症度と考えて下さい。もちろん、新型インフルエンザウイルスではないことを、付け加えておきます。

もうひとつは異常行動です。2004年の高校生の転落死亡事故以来、厚生労働省は2007年3月から10才代の子どもへのタミフルの使用を原則中止にしています。その後の結論は出たのでしょうか。先日講演会で、研究班の医師の話を聞く機会がありました。確定的なことは言えないにしても、どうも異常行動は薬剤というより、インフルエンザそのものが関係しているという結論が出そうです。しかし、1月27日に使用の有無は確認されていませんがリレンザを処方された高校生が5回から転落した事故がありました。もちろんリレンザとの関係は明らかではありませんが、厚生労働省は“リレンザなど薬使用の有無にかかわらず、未成年者のインフルエンザ患者は高熱を出してから最低2日は、1人にしないよう”保護者に注意喚起する通知を製薬企業に出しました。もちろんこの通知は、2007年に出されたものと同様で、当院でもインフルエンザのお子さんに配付しています。

インフルエンザの治療は、益々難しくなってきました。薬剤の使用に関しては、大事なことは親御さんとよくコミュニケーションをとり、十分な納得の上に使用を考えたいと思います。むしろ、安易に薬に頼らないことが、懸命かもしれません。



2月のお知らせ

- ・東北大学医学部学生実習
2月20日(金)
よろしく御願います。
- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~
栄養士担当 無料

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』

読者の広場

先月は23通のメールを頂きました。1月号の新聞に対する感想や思いを多く頂いたので、紹介したいと思います。多くのメールを載せたいので、文字が小さくなり読みにくくなってしまいました。まずは青葉区の中鉢さんからです。「こんばんは。川村先生にはいつも病気だけではなく育児の不登の解消など、多くのアドバイスを頂き感謝しております。5人のこどもの子育て中ですが、十人十色の言葉通り、病気や育児だって五人五色です。そんな環境の中、川村先生に診察して頂いた後、「かわむらこどもクリニックNEWS」を読むのが私の楽しみの一つです。先生の講演会の報告だったり、病気についての説明だったりなど、長年？子育てしているはずなのに改めて再認識したりと。今こんな病気が流行っているんだと知ると、同じ子供を持つお母さんに教えたり、パート保育士をしていた時はお母さんの話題提供など私の中では大活躍のクリニックNEWでした。ところが今年になって1月号を頂き、家でじっくり読んだらいつも以上に衝撃でした。先生のお話しはどこか遠い話しのことだと思っていましたが、身近にあるんですね。特に最後のお話しは、思春期を持つ母としては、いつ何時自分の娘がその立場にあってもおかしくない話でした。高校3年の娘は大学受験で東京の大学を目指しています。まず主人にクリニックNEWSを読んでもらいどんな考えか確認をしました。そして娘が学校から帰って来て後半の部分だけを娘に目を通してもらい、感じたことを聞きました。娘は「こんなことはないと思うよ。」話していましたが、たとえこのような状況になっても必ず親に相談してほしいとお願いしました。親子で性だけでなく命の大切さについても話し合うことができました。大学受験の結果はどうなるかわかりませんが(笑)、娘が仙台にとどまることになって同じだと思っています。今回のクリニックNEWSを通して娘だけでなく主人とも話すきっかけとなって良かったと思っています。すごくいいタイミングでした。クリニックNEWS1月号の内容を書くにあたって川村先生の中にも葛藤があったと思いますが、私にとっていろいろ考えさせられた内容でした。新年早々衝撃でしたが、まだまだ私の子育ては続きますが、これからも宜しくお願いいたします。寒い日が続いておりますが先生もお身体を留意して下さいね。」続いては若林区の相原さんからは2通いただきました。まずは小学生になって、自分で自分の困ったことを伝えるという診察室での出来事に対するのメールです。「こんばんは！相原璃空・太珠の母です。先生!!!!今日は、ホツツントに嬉しかったです!!!!先生のおっしゃる通り... 確に自分でも感じていた事で。りくが、いつも自分でもできる様な事でも私を頼ってくるのは、私が“子供を見守る”という事ができていないからなのだと思います。ある意味、子供を信じて自立させてあげるのも親の役目ですよ(恥)だから私は、あれしろ!これしろ!と口うるさいですよ~(笑)反省。でも普通ならば今日の様な事を誰かに言われたならば【特に主人(笑)】意地をはってしまふ所ですが、先生に言われた瞬間! 嬉しくて嬉しくて(笑)自分でも感じていた事なので、言われた~(笑)って感じてました。例えば... 吉本新喜劇の様な... 分かりきった“ネタ”をいつ来るかいつ来るかと笑いを堪えて待ち構え! やっぱり来た~というように、分かりにくい例でしたね(苦笑)先生... いつもいつも、病気の事以外にも気を向けて下さってありがとうございます。きつときつと子供達は、先生の事を思い出しながら、優しくたくましく育ってくれるのだと思います。では遅くにすみませんでした。今日も一日お疲れ様でした。PS りくに『お母さん! 叱られちゃったね(苦笑)』と言われてしまいました(笑)」。続いて新聞への感想です。「先生!! 毎日お疲れ様です。相原璃空・太珠の母です。お返事ありがとうございました。実は.....先生にメールを送った後... クリニック新聞を読ませて頂きました。涙が止まりませんでした。唐く考えさせられました。正直... 一人では消化しきれず、主人と話し合いました。そんな出来事があったとは知らず、浮かれたメールを送ってしまい... すみませんでした。1月25日... お陰さまで璃空が8才の誕生日をむかえる事ができました。先生にお世話になって8年です。これ迄にない考えさせられた誕生日でした。一人一人の人生と命を預かってるという重みを忘れず、しっかりと【工口にならず】育てあげて行きたいと思ひます。また... 様々な方々にもしっかり目を向けられる様、責任を持っていきたいと思ひます。大切な何かを忘れがちな毎日に..... 貴重な考える時間を与えて下さって... 本当に本当に感謝します。ありがとうございます... ありがとうございます。早くからすみませんでした。まだまだ寒い日が続きますが、お体に気を付けて。」。次は青葉区の相澤さんからです。「おはようございます。相澤晴斗と芽衣の母です。昨日はお世話になりました。晴斗の定期的な薬のため、これまで二週間に一度受診してたものが前回初めて1ヶ月開き、昨日が1ヶ月振りの受診だったのですが、診察室に先生が入ってきて(瘦せた? お疲れなんだな。もう夕方もあるからかな)と勝手に感じてしまいました。子どもは先生のことが大好きで察の定テンション高く(すみませんでした!)診察され、帰る際、新聞をもらい(いつも勉強になる内容で楽しみにしてました)そのまま薬局でお薬を待ちながら読み始めました。今まで新聞を読んで感じたことのないショックを受けました。三件ありましたが、申し訳ないですがテレビから流れるニュースの中の話とこれまで思っていました。こんなに身近でもあるなんて!! 自分も今、乳幼児に携わる仕事をしています。いつこういうことが起きるかわからない... ということを教訓にしたいと思ひます。亡くなられたお子さんのご冥福をお祈りいたします。そして先生もこれ以上お瘦せになりませんように! 今後もよろしく願ひします。」。ご心配ありがとうございます。そして大丈夫です。多くの感想を頂き、ありがとうございました。



1月の感染症の集計



水痘は増加していますが、他に目立った感染症はありません。グラフに示していませんが、インフルエンザは流行中で1月は98人で12月の2倍に増加しています。当院で分離された23例のうち、21例はAソ連型、2例がA香港型、B型は0でした(東北大学との共同研究:ご協力ありがとうございました)。他には、感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)が多く、川崎病も3人みられました。

お母さんクラブのご案内

歯と口の健康づくり教室

2月19日(木) 14:00 ~ 幸町市民センター

今回は、みやぎの保健福祉センターの協力を得て、虫歯予防・歯周病予防・歯磨きチェック・フッ化物の利用法など、歯と口に関する教室を開催することになりました。会員以外の参加も可能です。興味のある方は、受付まで。

編集後記

今月号は、本当に読みにくい新聞で申し訳ありません。とくに“読者の広場”では、意味不明のところがあるかもしれません。ともかくスペースが限られているので、ご勘弁ください。多くの方から感想を頂いたことには大きな意味があります。いろいろなことを考えさせてくれたのも、亡くなった子ども達のおかげです。ありがとうございます。謝の言葉とともに、もう一度冥福を祈りたいと思います。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!